

人材派遣大手各社が主力の一般事務職の春の契約更新に伴う料金交渉で値上げを要請した。景気回復に伴う需要拡大でスタッフの確保が難しさを増しており、派遣先企業にも時給引き上げや募集費用の増加などのコスト負担を求めていく構え。値上げ要請が通れば七年ぶりとなった昨春に続く二年連続の値上げで、派遣料金のバブル期以来の上昇

06.1.31 日経

## 人材派遣 春の料金交渉

# 2年連続 値上げ要請

基調が鮮明となる。リクルートスタッフイン  
グ（東京・千代田）、アテ  
コ（東京・港）、テンプス  
スタッフ（東京・渋谷）など  
大手派遣会社は一月下旬か  
ら値上げ交渉を本格化。昨  
春実施した値上げとほぼ同  
水準の約三―五%の引き上  
げを要請している。

現在、派遣先企業に請求  
している料金は、パソコン  
操作や文書整理などを担当  
する一般事務職で一時間千  
八百―二千円（首都圏、  
税別、交通費別）が中心だ  
が、約百円の値上げを目標  
とする。

派遣市場は景気の回復傾  
向に乗り、今年も需要が前  
年比一〇%以上伸びるとす  
る予想が多い。長引く人手  
不足で完全な売り手市場に  
なっているだけに、派遣会  
社は強気に交渉を進めたい  
としている。